

鈴鹿市 子ども・子育て支援事業に関するアンケート調査（案）

●調査ご協力をお願い●

皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、「子ども・子育て支援法」に基づき、令和2年3月に「第2期鈴鹿市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んでおりますが、令和6年度末で計画期間の満了を迎えます。

つきましては、本市の令和7年（2025年）からの「第3期子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて、保護者の方の利用ニーズ等を把握するため、アンケート調査を実施します。

本調査は無記名で行い、ご本人が特定されることはありませんので、率直なご意見をご記入ください。調査結果は、統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、アンケート調査にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年12月 鈴鹿市長 末松 則子

【記入にあたって】

- 1 特にことわりのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについて保護者の方がご記入ください。
- 2 回答は選択肢に○をつけていただく場合と、数字などを記入していただく場合がありますので、各設問の記載に従ってお答えください。
- 3 選択肢の場合、選んでいただく数が設問によって異なりますので、（ ）内の記載に従ってください。また、「その他」を選択された場合には、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 4 数字でご記入いただく場合、該当する数値を下線上にご記入ください。また、時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。例：午前8時→08時 午後5時→17時
- 5 設問によっては回答いただく方が限られている場合がありますので、ことわり書きや矢印に従ってお答えください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。
- 6 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、令和6年1月29日（月）までに郵便ポストに投函してください。（切手は不要です）なお、この調査票にも返信封筒にも、名前を書く必要はありません。

◆この調査は、インターネットでも回答できます。パソコン、スマートフォン、タブレット等により下記のURLまたは右下のQRコードを読み取り、画面の案内に従って、下記のID、パスワード番号を入力し、質問にお答えください。

※英数字は二重回答を防止するもので、個人を特定するものではありません。

回答URL：

ID・パスワードシール貼付位置



QRコード

※回答を中断した場合は再度QRコードを読み取り、上記のID・パスワードを入力し、再開してください。インターネットで回答いただいた場合は、この調査票を返送していただく必要はありません。

<回答に関してのご不明な点やこの調査に関するお問い合わせ先>

鈴鹿市 子ども政策部 子ども政策課 電話：059-382-7661（直通）

にほんご ばあい と あ
日本語がわからない場合などはお問い合わせください

これは、鈴鹿市が新しい計画を作るためのアンケートです。

日本語がわからない人は、日本語がわかる人といっしょに答えてください。

なにか質問があれば、市役所に聞いてください。

※Web（インターネット）でも回答ができます。

（ポルトガル語）

■ Aos cidadãos estrangeiros

Esse é o Questionário de Planejamento Abrangente de Suzuka. Se você não sabe japonês, responda com alguém que sabe. Caso tiver alguma dúvida, pergunte à sua prefeitura.

*Você pode responder pela WEB (Internet).

（スペイン語）

■ A los señores ciudadanos extranjeros

Les estamos pidiendo su colaboración con el cuestionario para la planificación integral de Suzuka.

Por favor coopere con alguien que sepa japonés

Si tiene alguna pregunta, entre en contacto con la municipalidad de Suzuka.

*También puede contestar en la WEB.

（英語）

■ To foreign citizens

We would like to ask your cooperation with the Suzuka Comprehensive Planning Questionnaire. Please answer with someone who understands Japanese. If you have any questions, please ask to Suzuka City.

*This survey can also be accepted online.

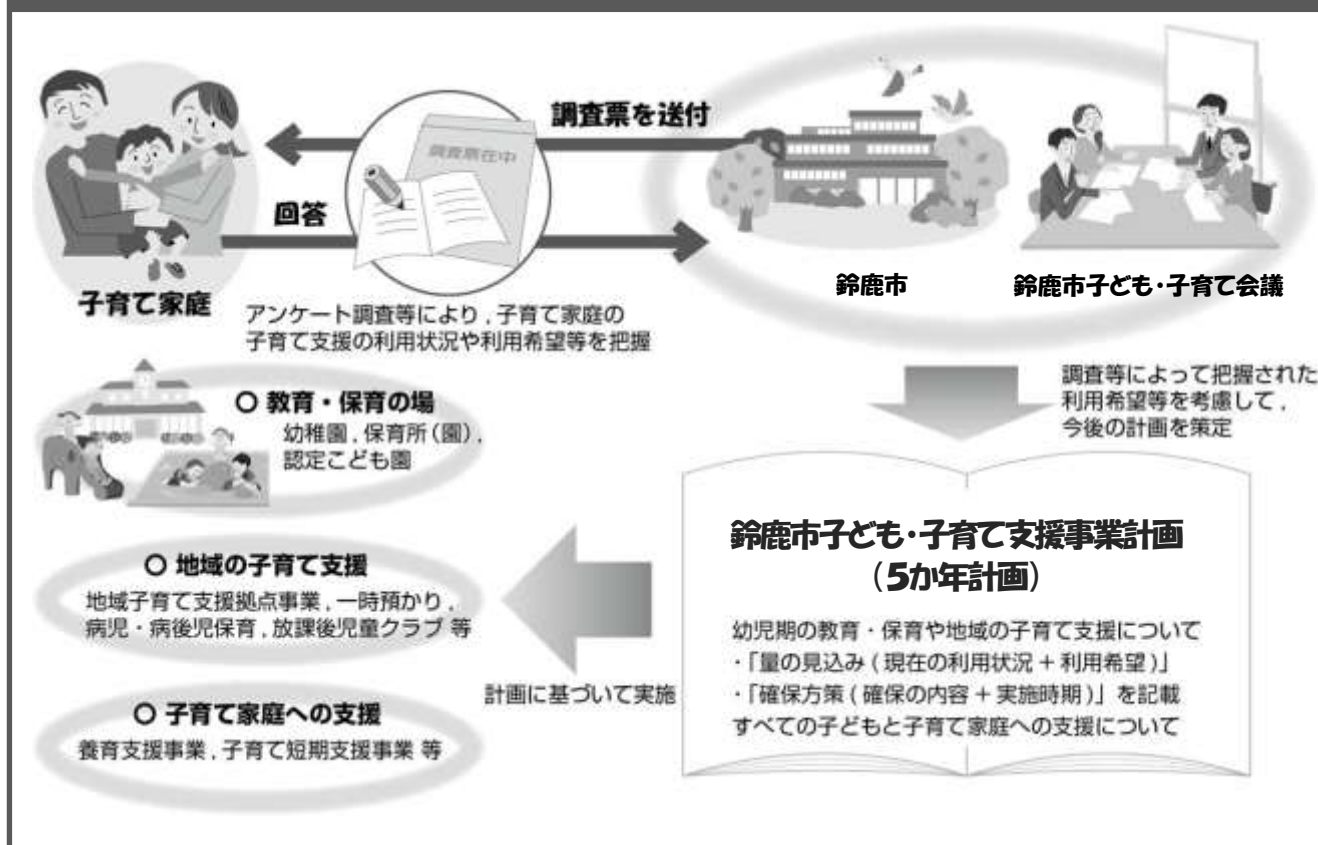
URL

【お問い合わせ先】子ども政策課 Tel. 059-382-7661

QRコード

市民対話課（外国人交流室） Tel. 059-382-9058

いただいたご回答は、鈴鹿市の子育て支援の充実に生かします



子育てに関する「施設」「サービス」の説明です。回答される際の参考にしてください。

放課後児童クラブ （学童保育）	地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員の下、小学生の生活の場を提供するものです。
ファミリー・サポート・センター事業	子育ての手助けができる人と、子育ての手助けを必要とする人が会員として登録し、保育所（園）や幼稚園などの送迎等の相互援助を行う事業です。
病児・病後児保育	子どもが病気中や病気の回復期であって、保護者が就労等により家庭での看護が困難なときに、病院や保育施設などで、保護者にかわって保育と看護を行う事業です。

1 お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。(○は1つ)

※通学している小学校区ではなく、現在お住まいの小学校区をお答えください。

※小学校区がわからない場合は、「31. わからない」に○をつけ、町名をご記入ください。

1. 国府	2. 庄野	3. 加佐登	4. 牧田
5. 清和	6. 石薬師	7. 白子	8. 鼓ヶ浦
9. 愛宕	10. 旭が丘	11. 桜島	12. 稲生
13. 飯野	14. 明生	15. 河曲	16. 一ノ宮
17. 長太	18. 箕田	19. 玉垣	20. 若松
21. 神戸	22. 栄	23. 郡山	24. 天名
25. 合川	26. 井田川	27. 鈴西	28. 椿
29. 深伊沢	30. 庄内	31. わからない (町名:)	

2 お子さんご家族の状況についてうかがいます

問2 お子さんの生年月を、□□に数字でご記入ください。

※西暦でお答えください。

20□□年□□月 生まれ

問3 お子さんのきょうだいは何人ですか。

※宛名のお子さんを含めた人数を、□□に数字でご記入ください。

※2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は末子の方の生年月をご記入ください。

※西暦でお答えください。

きょうだい数□□人 末子の生年月 20□□年□□月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(○は1つ)

※お子さんからみた関係でお答えください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者の有無についてお答えください。(○は1つ)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(○は1つ)

※お子さんからみた関係でお答えください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他 ()

3 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問7 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっているもの（施設）は何ですか。
（当てはまる番号すべてに○）

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 放課後児童クラブ（学童保育）※1 | 2. 学習塾，習い事 |
| 3. 地域の青少年団体活動（子ども会，スポーツ少年団） | |
| 4. 児童センター | 5. その他（ ） |

※1 放課後児童クラブ…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに，支援員の下，子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用には，一定の利用料がかかります。

問8 お子さんの子育て（教育を含む）に，大きく影響すると思う環境すべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-------|--------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 小学校 |
| 4. その他（ ） | | |

問9 日頃，お子さんをみてもらえる親族，知人はいますか。（当てはまる番号すべてに○）

- | | |
|---------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒問9-1 へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人，知人がいる | } ⇒問9-2 へ |
| 4. 緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人，知人がいる | |
| 5. いずれもない ⇒問10へ | |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
（当てはまる番号すべてに○）

- | |
|--|
| 1. 祖父母等の親族の身体的，精神的な負担や時間的制約を心配することなく安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として，負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか，少し不安がある |
| 6. その他（ ） |

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

友人、知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(当てはまる番号すべてに○)

- | |
|---|
| 1. 友人、知人の身体的、精神的な負担や時間的制約を心配することなく、
安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人、知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人、知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他() |

問10 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. いる／ある ⇒問10-1へ | 2. いない／ない ⇒問11へ |
|-----------------------|----------------------|

問10-1 問10で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。

(当てはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 祖父母等の親族 |
| 3. 友人、知人 | 4. 近所の人 |
| 5. 小学校の先生 | 6. 放課後児童クラブ(学童保育)の指導員 |
| 7. ピアノ、野球、サッカー等の指導員 | 8. 民生委員、児童委員 |
| 9. 市の子育て関連担当窓口 | 10. NPO法人等の子育て支援団体 |
| 11. インターネットの相談サイト | |
| 12. その他() | |

問11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。ご自由にご記入ください。

.....
.....
.....
.....

4 保護者の就労状況についてうかがいます

お母さんのことについてうかがいます

※父親のみ家庭は記入不要です。⇒問13へ

問12 現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をうかがいます。（○は1つ）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休、育休、介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休、育休、介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休、育休、介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休、育休、介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒問12-1へ

⇒問12-3へ

問12-1 問12で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

以下の（1）、（2）の設問にお答えください。

（1）1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）を□□に数字でご記入ください。

※日数や時間が一定でない場合はもっとも多いパターンをお答えください。

※産休、育休、介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり □□ 日

1日当たり □□ 時間

（2）家を出る時刻と帰宅時刻を、□□に数字でご記入ください。

※時間が一定でない場合はもっとも多いパターンをお答えください。

※産休、育休、介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時刻は、24時間制【（例）09時頃、18時頃のように】でご記入ください。

家を出る時刻 □□ 時頃

帰宅時刻 □□ 時頃

問12-2 問12で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問12-3 問12で「5.」または「6.」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか。（あてはまる番号、記号それぞれ1つに○をつけて、該当する選択肢には、**□□に数字**をご記入ください。）

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに働きたい
3. すぐにでも、または1年以内に働きたい

「3.」に○をつけた方

→希望する
就労形態

ア.フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ.パートタイム・アルバイト等（「ア.」以外）

→1週当たり 日／1日当たり 時間

お父さんのことについてうかがいます

※母親のみ家庭は記入不要です。⇒問14へ

問13 現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をうかがいます。（○は1つ）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休、育休、介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休、育休、介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休、育休、介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休、育休、介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒問13-1へ

⇒問13-2へ

問13-1 問13で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

以下の（1），（2）の設問にお答えください。

- （1）1週当たりの就労日数，1日当たりの就労時間（残業時間を含む。）を**□□に数字**でご記入ください。

※日数や時間が一定でない場合はもっとも多いパターンをお答えください。

※育休、介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり 日

1日当たり 時間

- （2）家を出る時刻と帰宅時刻について、**□□に数字**でご記入ください。

※時間が一定でない場合はもっとも多いパターンをお答えください。

※育休、介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時刻は、24時間制【（例）09時頃、18時頃のように】でご記入ください。

家を出る時刻 時頃

帰宅時刻 時頃

フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

- 問13-3 問13で「5.」または「6.」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに働きたい
3. すぐにでも、または1年以内に働きたい

→希望する
就労形態

ア.フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）
イ.パートタイム・アルバイト等（「ア.」以外）
→１週当たり 日／１日当たり 時間

問14 お子さんは現在、放課後児童クラブ等の「平日の定期的な子育て支援事業」を利用されていますか。(○は1つ)

- 問14-1 問14で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

1. 放課後児童クラブ（学童保育）
2. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
3. その他（ ）

問14-2 平日に定期的に利用している子育て支援事業について、現在どのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日，1日当たり何時間
(何時から何時まで)かを，□□に数字でご記入ください。

※時間は，24時間制【(例) 09時～18時のように】でご記入ください。

(1) 現在の利用状況

1週当たり 日	1日当たり 時間	(時～ 時)
------------------------------	-------------------------------	--

(2) 希望 ※時間は，24時間制でご記入ください。

1週当たり 日	1日当たり 時間	(時～ 時)
------------------------------	-------------------------------	--

問14-3 平日に定期的に子育て支援事業を利用されている理由についてうかがいます。
(○はいくつでも)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている者が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている者が就労予定である／求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている者が家族，親族などを介護している
5. 子育て(教育を含む)をしている者に病気や障がいがある
6. 子育て(教育を含む)をしている者が学生である
7. その他 ()

問14-4 問14で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
平日に利用していない理由は何ですか。(当てはまる番号すべてに○)

1. (子どもの教育や発達のため，子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人，知人がみている
4. 利用したいが，満員で空きがない
5. 利用したいが，経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが，延長，夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが，事業の質や場所など，納得できる事業がない
8. その他 ()

問15 すべての方にうかがいます。

現在，利用している，利用していないにかかわらず，お子さんの平日の子育て支援事業として，「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(当てはまる番号すべてに○)

※これらの事業の利用には，一定の利用料がかかります。

1. 放課後児童クラブ(学童保育)
2. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)
3. その他 ()

6 お子さんの土曜日、日曜日、祝日や長期休暇中の「定期的」な放課後児童クラブ等の子育て支援事業の利用希望についてうかがいます

問16 お子さんの土曜日、日曜日、祝日に、定期的な放課後児童クラブ等の子育て支援事業の利用（一時的な利用は除きます。）の希望はありますか。（○は1つずつ）

※希望がある場合は、□□に利用したい時間帯を数字でご記入ください。

※時間は、24時間制【（例）09時台～18時台のように】でご記入ください。

※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} →	利用したい時間帯 □□ 時台～□□ 時台
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

（2）日曜日、祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} →	利用したい時間帯 □□ 時台～□□ 時台
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

問17 放課後児童クラブ等の子育て支援事業を利用されている方にうかがいます。

お子さんについて、子育て支援事業の利用は、どの期間を主に希望しますか。（○は1つ）

1. 通年で利用したい	
2. 長期の休み期間中（夏休み、冬休み）は利用したい	
3. 特に夏休みに利用したい	
4. 特に冬休みに利用したい	
5. その他（	

問18 問14で「1. 利用している」と回答された方にうかがいます。

お子さんは現在、放課後児童クラブを利用されていますか。（○は1つ）

1. 利用している	⇒問18-1へ	2. 利用していない	⇒問19へ
-----------	---------	------------	-------

問18-1 問18で「1. 利用している」と回答された方にうかがいます。

お子さんの夏休み、冬休みなど長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用を希望しますか。（○は1つ）

※希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

※時間は、24時間制【（例）09時台～18時台のように】でご記入ください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間はほぼ毎日利用したい	} →	利用したい時間帯 □□ 時台～□□ 時台
2. 高学年（4～6年生）になってもほぼ毎日利用したい		
3. 低学年（1～3年生）の間は、週に数日利用したい ⇒問17-1へ		
4. 高学年（4～6年生）になっても週に数日利用したい ⇒問17-1へ		
5. 利用する必要はない		

問18-2 問18-1で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(当てはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため |
| 5. その他 () | |

7 お子さんの病気の際の対応についてうかがいます (放課後児童クラブ等の子育て支援事業を利用する方のみ)

問19 問14で「1. 利用している」に○をつけた方(平日の放課後児童クラブ等の子育て支援事業を利用していると答えた保護者の方)にうかがいます。 ⇒利用していない方は問20へ

この1年間に、お子さんが病気やケガで子育て支援事業が利用できなかったことはありますか。
(○は1つ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. あった ⇒問19-1へ | 2. なかった ⇒問20へ |
|----------------|---------------|

問19-1 問19で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんが病気やけがで普段利用している放課後児童クラブ等の子育て支援事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどのようなことですか。

(当てはまる番号すべてに○)

※それぞれの日数も□□に数字でご記入ください。

※半日程度の対応の場合も1日として数えてください。

1年間の対処方法	日数	
1. 父親が休んだ	□□ 日	⇒問19-2へ
2. 母親が休んだ	□□ 日	
3. (同居者を含む) 親族, 知人に子どもをみてもらった	□□ 日	⇒問19-5へ
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□ 日	
5. ファミリー・サポート・センターの送迎等を利用した	□□ 日	
6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 日	
7. その他 ()	□□ 日	

問19-2 問19-1で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。
(○は1つ)

※日数についても、□□に数字でご記入ください。

※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前に市が指定する医療機関の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □□ 日 ⇒問19-3へ

2. 利用したいとは思わない ⇒問19-4へ

問19-3 問19-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。
(当てはまる番号すべてに○)

1. 幼稚園、保育所（園）等に併設した施設で子どもを保育する事業

2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業

3. 地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）

4. その他（ ）

問19-4 問19-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

そう思う理由についてお答えください。(当てはまる番号すべてに○)

1. 病気の子を他人に看病してもらうのは不安

2. 地域の事業の質に不安がある

3. 地域の事業の利便性（立地、利用可能時間、日数など）がよくない

4. 利用料が必要である、高い

5. 利用料がわからない

6. 親が仕事を休んで対応する

7. その他（ ）

問19-5 問19-1で「3.」～「7.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看病したい」と思いましたか。
(○は1つ)

※「3.」～「7.」のうち仕事を休んで看病したかった日数についても、□□に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看病したい ⇒ □□ 日 ⇒問20へ

2. 休んで看病することは非常に難しい ⇒問19-6へ

問19-6 問19-5で「2. 休んで看病することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

そう思う理由についてお答えください。(当てはまる番号すべてに○)

1. 子どもの看病を理由に休みがとれない

2. 自営業なので休めない

3. 休暇日数が足りないので休めない

4. その他（ ）

8 お子さんの不定期の一時預かり等の利用についてうかがいます

問20 お子さんについて、日中の定期的な放課後児童クラブや病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(当てはまる番号すべてに○)

※1年間の利用日数についても、□□に数字でご記入ください。

利用している事業	年間日数
1. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	□□ 日
2. 夜間等養護事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日、夜間、子どもを保護する事業)	□□ 日
3. その他 ()	□□ 日
4. 利用していない ⇒問20-1へ	

⇒問21へ

問20-1 問20で「4. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。(当てはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	
4. 地域の事業の利便性(立地、利用可能時間、日数など)がよいくない	
5. 利用料が必要である、高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	
8. 事業の利用方法(手続等)がわからない	
9. その他 ()	

問21 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。(あてはまる番号に○は1つ、あてはまる記号すべてに○)

※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□□に数字でご記入ください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

利用希望	希望日数
1. 利用したい	計 □□ 日
ア. 私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事など)、息抜き目的	□□ 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院など	□□ 日
ウ. 不定期の就労	□□ 日
エ. その他 ()	□□ 日
2. 利用する必要はない ⇒問22へ	

⇒問21-1へ

問21-1 問21で「1.利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問21の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。
(当てはまる番号すべてに○)

1. 地域住民が子育て家庭の近くの場所で保育する事業
(例：ファミリー・サポート・センター等)

2. 夜間等養護事業：トワイライトステイ

3. その他 ()

問22 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭, 保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安, 病気など)により, 泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。(あてはまる番号に○は1つ, あてはまる記号すべてに○)

短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間, 子どもを保護する事業)の利用希望の有無について, 当てはまる番号・記号すべてに○をつけ, 必要な泊数をご記入ください。(利用したい泊数の合計と, 目的別の内訳の泊数を, □□に数字でご記入ください)

※事業の利用には, 一定の利用料がかかります。

利用希望	希望日数
1. 利用したい	計 泊
ア. 冠婚葬祭	泊
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	泊
ウ. 保護者や家族の病気	泊
エ. その他 ()	泊
2. 利用する必要はない	

9 子どもの貧困対策についてうかがいます

現在、本市では、鈴鹿市子どもの貧困対策計画に基づき、様々な支援事業を実施しています。次期計画を策定するにあたり、本市の子どもを取り巻く状況を把握するとともに、本市にお住いの多くの皆様の意識や意見を反映し、必要な施策について検討するために、アンケートへのご協力をお願いします。

【子どもの貧困とは】

子どもが生まれ育った環境によって、栄養バランスの取れた食事ができなかったり、教育の機会が得られないといった社会問題であり、日本の17歳以下のこどもの※相対的貧困率は11.5%（2021年，厚生労働省調べ），また，経済的理由により就学援助を受けている小学生・中学生は約130万人います（2021年，文部科学省調べ）。しかし，多くは，その状況に自覚がない等により「子どもの貧困」に実感がわかず支援につながっていないため，子どもの貧困は「見えにくい」と言われています。

※相対的貧困とは、その国の文化水準や生活水準と比較して困窮した状態のこと

問23 日本における子どもの貧困の実態を知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 内容までよく知っている | 2. 内容について少し知っている |
| 3. 聞いたことはあるが、内容は知らない | 4. 聞いたことがない |

問24 子どもの貧困対策に必要だと思うことを教えてください。(当てはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 国が行う支援 | 2. 三重県及び鈴鹿市が行う支援 |
| 3. 教育、福祉施設等が行う支援 | 4. 地域社会で支え合う等の支援 |
| 5. 保護者への支援 | 6. 子どもへの支援 |
| 7. 他の社会問題の方が優先度が高いため、必要と思わない | |
| 8. その他 () | |

問25 子どもの貧困対策として、税金を使うべきだと思うことを教えてください。
(当てはまる番号すべてに○)

1. 保育にかかる費用をすべて無料にすること
2. 小中高校生活にかかる費用をすべて無料にすること
3. 大学教育にかかる費用の家庭負担の軽減
4. 子どもが無料で過ごせる居場所の充実
5. 子どもの意見を政策や施策に反映できる仕組みづくり
6. 子どものいる保護者に対する税金や保険料の軽減
7. 生活保護の基準額の引き上げ
8. 税金は使うべきではない
9. その他 ()

問26 現在の生計状況は、お子さんを含めて何人ですか。

※大人の人数, 子どもの人数を□□に数字でご記入ください。

※単身赴任や進学、入学・入所などのため一時的に別居しても生計をともにしている方や、まだ正式な家族関係にない方を含みます。

大人 () 人 子ども () 人

問27 子育ての中で特に大変なこと（困りごと）について教えてください。
（当てはまる番号すべてに○）

1. 子どもの健康管理・食生活	2. 子どもと一緒に過ごす時間の確保
3. 学習塾等（習い事）の費用	4. 聞き相談相手がいないことたことがない
5. 仕事と子育ての両立	6. 保護者自身の健康状態
7. 特にない	8. その他（ ）

問28 子どもの将来について、不安なことを選択してください。（当てはまる番号すべてに○）

1. 進学のための学費の貯金等	2. 友人関係の構築
3. 希望の職業に就くまでのサポート	4. 社会への適応性
5. 子どもの日常生活（家事などの習慣）	6. 特にない
7. その他（ ）	

問29 困った時に相談する相手について教えてください。（当てはまる番号すべてに○）

1. 親・親族	2. 友人・知人	3. 子ども	4. 学校の先生
5. 市等の専門窓口	6. 隣人・地域の人等	7. SNS等	8. いない
9. その他（ ）			

----- 問37, 問38 の設問については、差支えがなければ記載をお願いします。 -----

問30 あなたのご家庭では、お子さんが生まれてから現在までの間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気・ガス・水道のいずれかを止められたことがありましたか。（○は1つ）

1. あった	2. なかった	3. 分からない
--------	---------	----------

問31 あなたのご家庭の全員の収入を合わせた年間の「世帯の収入（年間のボーナス含む手取り額、児童手当等の公的手当も含む）」を教えてください。（○は1つ）

※単身赴任や進学などのために、一時的に別居している方も含みます。

1. 収入はない	2. 50万円未満	3. 50～100万円未満
4. 100～150万円未満	5. 150～200万円未満	6. 200～250万円未満
7. 250～300万円未満	8. 300～350万円未満	9. 350～400万円未満
10. 400～500万円未満	11. 500～600万円未満	12. 600～700万円未満
13. 700～800万円未満	14. 800～900万円未満	15. 900～1000万円未満
16. 1000万円以上		

10 子どもの権利や子育てのことについてうかがいます

現在、鈴鹿市では、子どもや子育てにやさしいまちづくりを目指すため、「鈴鹿市子ども条例（仮称）」の制定に向けて検討を行っています。条例に多くの方の意見を反映するために、アンケートへのご協力をお願いします。

【子どもの権利とは】

例えば「自由に遊んで、学校で勉強が出来ること」「ごはんや寝るところがあって、安心して暮らせること」「自分の思っていることを言えて、やりたいことができること」「怖い思いや、痛いことをされないこと」など、すべての子どもが、心身ともに健康に、自分らしく育つための 権利です。この子どもの権利の基本は、1989（平成元）年11月の国連総会で採択された「子どもの権利条約」に定められており、日本は1994（平成6）年にこの条約を結んでいます。

子どもの権利条約について詳しくお知りになりたい方は、「公益財団法人 日本ユニセフ協会」のホームページをご覧ください（右のQRコードよりご覧いただけます）。



日本ユニセフ協会
「子どもの権利条約」

問32 あなたは「子どもの権利」について知っていましたか。（○は1つ）

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 内容までよく知っている | 2. 内容について少し知っている |
| 3. 聞いたことはあるが、内容は知らない | 4. 聞いたことがない |

問33 「子どもにとって特に大切なこと」について、次の項目ごとにその“度合い”をお答えください。（○は1つずつ）

項目	思わない ←————→ 思う				
1. 自分の気持ちを自由に言ったり、話したりできること	1	2	3	4	5
2. ごはんや寝るところがあって、安心して暮らせること	1	2	3	4	5
3. 自分らしく成長できること	1	2	3	4	5
4. 病気やけがをしたら病院へ行けること	1	2	3	4	5
5. 仲間とグループを作って遊んだり、スポーツが出来ること	1	2	3	4	5
6. 仲間外れにされたり、いじめられないこと	1	2	3	4	5
7. 周りの人から痛いこと、怖いことをされないこと	1	2	3	4	5
8. 将来の夢に向かって、やりたいことができること	1	2	3	4	5
上記のほか、あなたが思う「子どもにとって特に大切なこと」についてご自由にお書きください。					

問34 あなたは、普段から、子どもの話を聞くことができますか。（○は1つ）

できていない ←————→ できている				
1	2	3	4	5

問35 子どもが困ったり悩んだりしたときに、どのような相談場所であれば、子どもは相談しやすいと思いますか。次の項目ごとにその“度合い”をお答えください。(○は1つずつ)

項目	思わない ←————→ 思う				
1. 聞いたことを秘密にしてくれるところ	1	2	3	4	5
2. たくさん話を聞いてくれるところ	1	2	3	4	5
3. 学校から遠い離れたところ	1	2	3	4	5
4. 電話やメール、SNSなど、直接会わずに相談できるところ	1	2	3	4	5
5. 直接会って相談できるところ	1	2	3	4	5
6. いつでも相談できるところ	1	2	3	4	5
上記のほか、あなたが思う「子どもが相談しやすい場所」についてご自由にお書きください。					

問36 地域活動や行政運営において、子どもの意見を聞くことは大切だと思いますか。(○は1つ)

思わない	←————→ 思う				
1	2	3	4	5	

問37 子どもの権利が守られているかを確認するには、何が必要だと思いますか。次の項目ごとにその“度合い”をお答えください。(○は1つずつ)

項目	思わない ←————→ 思う				
1. 定期的な子どもへの「子どもの権利」についてのアンケート等の実施	1	2	3	4	5
2. 「子どもの権利」について子ども同士が話し合う場の開催	1	2	3	4	5
3. 「子どもの権利」について様々な分野の人が集まって話し合う場・会議体の開催	1	2	3	4	5
4. 「子どもの権利」を踏まえた施策・取組のチェックリストの作成と評価の実施	1	2	3	4	5
上記のほか、あなたが思う「子どもの権利が守られているかを確認する手法」についてご自由にお書きください。					

問38 子育てしやすい環境に必要なものは何だと思いますか。次の項目ごとにその“度合い”をお答えください。(○は1つずつ)

項目	思わない ←————→ 思う				
1. 保育園や幼稚園、学校などの通園・通学先が身近にあること	1	2	3	4	5
2. 子育て中の親子が集まったり、遊べたりする場所	1	2	3	4	5
3. 子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組み	1	2	3	4	5
4. 子育てサークルなどのグループの自主的な活動がしやすい仕組み	1	2	3	4	5
5. 子育て中の人への地域の理解	1	2	3	4	5
6. 地域の大人達が連携して、子どもの活動を育成・支援する場	1	2	3	4	5
7. 子育ての悩みや困りごとを身近で相談できること	1	2	3	4	5
8. 子育ての情報の入手のしやすさ	1	2	3	4	5
上記のほか、あなたが思う「子どもが相談しやすい場所」についてご自由にお書きください。					

問39 子どもや子育てにやさしいまちづくりを進めていくために、鈴鹿市が取り組むべきだと思うことはありますか。次の項目ごとにその“度合い”をお答えください。(○は1つずつ)

項目	思わない ←→ 思う				
1. 地域住民等による見守り支援の充実	1	2	3	4	5
2. 保護者や子どものための相談・支援体制の充実	1	2	3	4	5
3. 子どもの社会参画の促進	1	2	3	4	5
4. 里親制度など養育する大人のいない子どもに対する支援	1	2	3	4	5
5. 家庭や学校などで権利の侵害を受けている子どものための救済措置の強化	1	2	3	4	5
6. 家庭の貧困やヤングケアラーなど、困難な状況に置かれた子どもに対する支援	1	2	3	4	5
7. 声をあげることが出来ない子どもの意見を聞くための取り組み	1	2	3	4	5
8. 同じ立場や悩みを持つ人同士をつなげるための取り組み	1	2	3	4	5
上記のほか、あなたが思う「子どもや子育てにやさしいまちづくりを進めていくために、鈴鹿市が取り組むべきこと」についてご自由にお書きください。					

問40 市の子育てに関する情報を、どのように入手していますか。(当てはまる番号すべてに○)

1. 市役所や市の機関	2. 広報紙
3. 市のウェブサイト（市のホームページ、きら鈴等）	
4. 友人	5. 小学校
6. 病院	
7. 情報の入手先がわからない	8. その他（ ）

問41 次の（１）～（３）の各項目についてお答えください。(○は1つずつ)

（１）鈴鹿市において、「子育てが楽しいと感じる度合い」

低い	←	→	高い(とても楽しい)
1	2	3	4
			5

（２）鈴鹿市において、「仕事と子育ての両立が大変と感じる度合い」

低い	←	→	高い(とても大変)
1	2	3	4
			5

（３）鈴鹿市において、「子育ての環境や支援に対する満足度」

低い	←	→	高い(とても満足)
1	2	3	4
			5

問42 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

.....
.....
.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手を貼らずに同封の返信用封筒に入れ、令和6年1月29日(月)までにポストへご投函ください。